

パレスチナ問題を学ぼう！ 勉強会+報告会のお知らせ

2009/01/28

年末・年始には、イスラエルのガザ侵攻について、テレビなどで観られたと思います。たった20数日間に、1300人以上のパレスチナ人、13人のイスラエル人が亡くなりました。もちろん、数ではなく、その背景にはひとりひとりの人生と、そのひとに関わる家族、友人がいます。

しかし、そもそもパレスチナ問題はなぜおこっているのか？なにが原因なのか？イスラエルが攻撃したのはパレスチナも悪かったからではないか？（日本の多くのメディアがそう報道しているように）、私たちに何ができるのか？本当の目的は？など、いろいろな疑問があるのではないかと思います。

私は昨年8、9月に、ヨルダン、パレスチナ難民キャンプでボランティアとして働き、それが終わったあとにはパレスチナ（ヨルダン川西岸）とイスラエルを訪れました。

そのときに出会ったイスラム教の親切なひとたち、パレスチナの人々、暮らしを、歴史や背景など基本的なことも学習しながら話し、一緒にパレスチナ問題について考えていけたらと思っています。

テスト期間中で、学生の方は難しいかもしれませんが、今回の大虐殺をただの「どこかの国の戦争」として片付けてしまわないように、どうか参加していただければと思います。

どうぞお誘いあわせの上ご参加ください。お会いできるのを楽しみにしています。



(写真：ヨルダン川西岸の難民キャンプにて)

<話す人>

小川美農里（みのり）、山口県立大学看護学部3年。アムネスティ・インターナショナル（山口）、IFMSA（国際医学生連盟）、jaih-s(日本国際保健医療学会 学生部会)にも所属。2007年、世界一周放浪にでかける。今までに訪れた国は40カ国。その間、東アフリカで病院・孤児院でのボランティアをし、ホームステイなどをして、できるだけ現地のひとと交流をとる。2008年夏は、パレスチナ難民キャンプにてUNRWA（国連パレスチナ難民救済機関）のクリニックでボランティアをし、パレスチナ問題について人々から学ぶ。スペイン語、アラビア語、スワヒリ語も勉強中。

連絡先・・・minorigawa7@yahoo.co.jp

<日時>

2009年2月6日（金）

18:00～19:30（発表1時間、質疑応答・ディスカッションなど30分を考えています）

（延長する場合もあります）

<場所>

F（新棟）204（バイパス沿いの新しい建物の左側2階）エレベーターあります

<参加費>

無料